

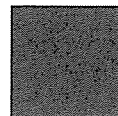
様式第1号（第2条関係）

令和 7年 9月30日

恵那市長

小坂 喬峰 様
（恵那市議会議長経由）

恵那市議会議員 千 藤 安 雄



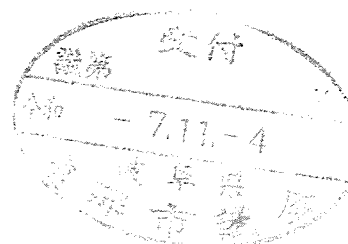
交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 54,710 円

但し、令和 7年 4月分 ～ 令和 7年 9月分



様式第4号（第4条関係）

令和 7年 9月30日

恵那市議会議長

鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 千 藤 安

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 期 間 令和 7年 5月12日 ～ 令和 7 年5月14日

2 研修視察先

1日目：静岡県島田市 株式会社東海汽缶
〃 大井川鐵道株式会社
2日目：山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
3日目：長野県長野市 戸隠地質化石博物館
長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST

3 研修視察名

新政会議員を中心とした有志議員による行政視察

4 研修視察者

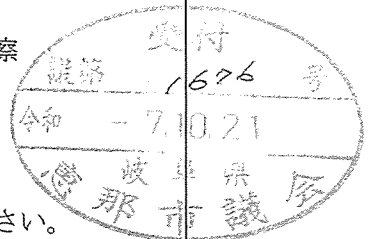
千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾努、太田敦之、林貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人（12名）

5 概 要

1日目：SLの動態化事業を展開している企業の取組みを視察
2日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察
3日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察

6 効 果

別添の恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書を参照ください。



令和 7 年 4 月 1 6 日

恵那市議会議長
鵜飼 伸幸 様

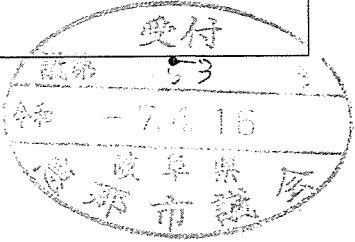
恵那市議会議員 千藤 安雄

研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日 程	令和 7 年 5 月 1 2 日 (月) ～ 令和 7 年 5 月 1 4 日 (水)			
出張者	渡辺 武彦 伊藤 勝彦 鵜飼 伸幸	林 貴光 柘植 孝彦 後藤 康司	太田 敦之 西尾 努 町野 道明	服部 紀史 千藤 安雄 高橋 隼人
用務地	①	5/12	静岡県島田市	(株) 東海汽缶
	②	5/13	山梨県北杜市	おいしい学校
	③	5/13	長野県飯綱町	いいづなコネクト EAST
	④	5/14	長野県長野市	戸隠地質化石博物館
	⑤	5/14	長野県飯綱町	いいづなコネクト WEST
用務内容	(行政視察テーマ) SL 蒸気機関車事業と廃校活用事例について			
	(趣旨) 長年 SL の動態化 (蘇らせる) する事業をおこなっている企業の取り組みについて調査、研究する。 全国各地にある廃校について、それぞれの地域性や特色などや運用状況などを調査、研究する。			
	(視察目的および恵那市の現状) 恵那市の SL 復元の取り組みにかかる想定費用のうち、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となる。今回の視察では、SL の動態化に取り組んでいる企業を視察し、恵那市における課題解決につなげる。 恵那南中学校の統合により閉校となる校舎の活用方法を模索している中、全国には様々な取り組みで廃校となった校舎を再利用している自治体も多い。明治、大正、昭和と三つの時代に建設された校舎の活用や博物館、グランピングなどの観光施設、ビジネスのためのサテライトオフィスなどへの転換など多様な活用事例を学ぶ。			



令和7年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月12日 10時30分 ～ 12時00分
3. 会 場	株式会社東海汽缶(蒸気機関車整備工場)
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鶴飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市ではSL復元の取り組みの動きがあり、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となるため、長年SLの動態化(蘇らせる)事業を展開している企業の取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	SLのボイラー整備には、鉄板腐食箇所変更や大小煙管更換など様々な作業が必要で、最短でも1年半から2年の整備期間が必要。整備士養成は、全検査レベルの習得には最短3年の期間を要するが、熱意だけではなく本人の知識習得と実践で生かす積極性を兼ね備えた者でなければ勤まらない。なお、日常の整備レベル習得には最短で2か月だが、まずは蒸気機関車の構造を確実に知識として習得してからがスタートで1年間の養成期間を要する。機関士は、国家試験(年2回)の筆記試験と実技試験で合格する必要がある。機関士助手は、厚生労働省の筆記試験に合格して、2年以上のボイラー取扱業務がなければ免許が取得できない。イニシャルコストは、必要となる集塵機選択や石炭灰落とし、水質などコストを抑える方法もあり、ランニングコストも燃料の選択と使用方、運転方の工夫などでコストを抑えることもできる。実際にSL整備から復元するまでに必要な期間は、分解運搬時始まり整備し許認可を受けるまでに3年半から4年にかかるらしいことなど、さまざまな貴重な説明と整備工場見学もでき、大変参考になった。

様式第 1 号 (手引き第 3 章関係)

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日 1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分
3. 会 場	大井川鐵道株式会社（新金谷駅など）
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	S L 関連施設として鉄道車両を運用可能な状態で整備・保存（動態保存）して、S L をほぼ毎日運行している施設や設備を見学
7. 効 果	大井川鐵道では、新金谷駅で実際に運行されている S L の整備を担当している整備士から話を聞く機会もいただき、同じ車両形式でも部品が同じではなく、部品を外注しても一つ一つ手作りで仕上げることや自分たちで製作することなど整備現場で整備の困難さなどを視察することができた。 また、国の登録有形文化財となっている新金谷駅の駅舎内に展示してある古い S L や駅舎なども見学することができた。

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月13日 10時00分 ～ 13時00分
3. 会 場	山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった明治・大正・昭和の三つの時代に建設された校舎を再利用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	山梨県北杜市の三代校舎ふれあいの里では、明治・大正・昭和の3つの時代に建設された校舎の活用事例を市職員から説明を受け、 明治校舎と大正校舎は、小学校の廃校で、昭和校舎は中学校の廃校であり、明治校舎は、山梨県指定文化財でハイカラな外観と木造が特徴の歴史資料館となっており、懐かしい学校教材に触れて体験ができ、1階はカフェとなっている。大正校舎は、大正館として農業体験施設となっており、ほうとう作りが実施されている。昭和校舎は、総合観光施設おいしい学校として、イタリアンや和食、地元野菜の販売、宿泊施設などが展開されており、廃校を存続と継続するための地元の熱い思いがないと事業として展開するのは難しいと感じた。 また、北杜市でも学校再編に向けた検討が進められているようで、今後の廃校活用が課題であるとのことであった。

様式第1号(手引き第3章関係)

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月13日 15時00分 ～ 16時00分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野県飯綱町の「いいづなコネクト EAST」を見学。旧小学校を改修した複合施設として、りんごを発呼させて造られるアルコール飲料(シードル)の醸造所や共有型のオフィススペース(コワーキングスペース)などがあり、しごと創りを促すような施設であると感じられた。

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月14日 9時00分 ~ 10時00分
3. 会 場	長野県長野市 戸隠地質化石博物館
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となり再利用されている施設を自然史博物館として運用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野市で旧中学校の木造の校舎を利用した戸隠地質化石博物館を視察した。廃校利用のため、通った学びの場所として親しみやすい作りになっており、学びの場としてケース越しの展示だけでなく、さわれる展示も数多く用意されており、標本にさわっての体験学習できるようである。 ここでは、熱心な研究員の人を引き込むような話しに感動し、施設管理には人材確保が重要であると感じた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 千藤 安雄

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 4 日 1 1 時 0 0 分 ～ 1 3 時 0 0 分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	飯綱町の「いいづなコネクト WEST」の視察では、昨日見学した EAST を含めた説明を受け、施設開設に向けた地域住民組織での 2 0 回を超える議論や施設の状況、課題など詳細に話を聞くことができた。 EAST は、食・農・しごと創りをテーマにしたしごとの創業交流施設で、WEST は自然・スポーツ・健康をテーマにした自然体験交流施設となっており、まだ十分に使える思い出の校舎を取り壊すことなく、地域内外の多世代が交流する拠点として再活用されていた。 この施設の運用を任されている「株式会社カンマッセいいづな」は、旧小学校の跡地利用を主の目的に作られた会社で、地域の居場所づくりである食堂やまちの新しい仕事の創出をする自主事業も展開しており、ここでも地域の想いがこもった施設が運用されていると感じられた。

新 政 会 研 修 レ ポ ー ト

氏名 千藤 安雄。

研修日時 令和 7 年 5 月 12 日(月) ～ 14 日(水)

視察研修

5 月 12 日 (月) 10:30～

(株)東海汽缶 大井川鉄道

蒸気機関車整備事業について

SL 関連施設見学

代表取締役社長 鈴木 肇様、常務取締役 石川 寛之様より説明を受けた。

工場では、明治村の 9 号蒸気機関車と C56 型蒸気機関車が整備されていた。

日本で蒸気機関車が整備できる工場は、2 社のみで、大阪に JR 関係で 1 社あるとの事である。

ボイラー整備には、機関車ごとに個性があり手作りに近く、少人数で時間をかけて実施する必要があり、最短で 1.5～2 年の期間が掛り費用も最低 85,000 千円ほどが必要である。

整備士の養成については、明知鉄道から他の事業者へ出向し、現業職場において整備作業を経験し習得する必要があり、最低 3 年の養成期間が必要で、最終的に肝心なのは、熱意のみでなく事業者が行う教育指導に加え本人の独学による知識習得と実践で生かす積極性を兼ね備えた者でなければ整備士は勤まらないし理論上解決できない職人レベルのセンスが最も大切である。

JR は 8 年に 1 回全体をバラして、点検をしている。技術力をも必要だが技術の継承がもっとも大切である事がベースにある。

乗務員の養成については、明知鉄道から他事業者へ出向して、機関士は蒸気機関車の構造等について専門教育を受け、国土交通省の筆記試験合格後、機関士見習いをへて実技試験を受ける必要があり最短 6 か月の養成期間が必要。

機関助士ボイラー技士免許の取得には 2 級最短 3 か月、1 級最短 2 年が必要であるとの事である。

蒸気機関車の準備に必要な施設は、①集塵・通風装置 ②車両下回り点検ピット

③石炭灰落としのアッシュピット ④給水塔 ⑤石炭積載用機器 ⑥ 機関車搭載用水タンク ⑦水をアルカリ性に生成する軟水器が必要になる。

イニシャルコストとして約 11 億円、ランニングコストとして 150 日/年を想定し約 1 億円が必要となる。

ま と め

事業を進めるには、蒸気機関の事前確認、復元、試験運行までに 5 年ほどの歳月がかかり、4 名の整備士、機関士・機関助士合わせて 4 名が必要であり、育成にも相当の歳月が必要との事である。

大きなランニングコストが必要であり、慎重に検討する必要があるが、観光都市を目指す恵那市として PR 事業と割り切り公費の投入も検討する必要があると考える。

5 月 13 日 (火) 10:00 ～

山梨県北杜市

研修課題

廃校活用事例について

(三代校舎ふれあいの里おいしい学校)

明治・大正・昭和の三代にわたり下津金地域に生まれたほとんどの人が通った小学校・中学校、その校舎がそのままの場所に並んで保存されている。

明治 8 年に建設された明治校舎は山梨県指定文化財であり、ハイカラな外観と木造が特徴の歴史資料館で、1F はカフェになっている。

大正 13 年に建てられた大正校舎をほとんど忠実に復元し、現在は、農業体験施設として、田植え・稲刈り等の農業体験を始め、山梨県の郷土食「ほうとう作り」「そば打ち」などのメニューを取り揃えて体験施設として活用している。

特に広い廊下を有してその片側に教室が並んでおり、体育館のない時代で、雨天時に朝礼などか行われていた事は、特記することである。

昭和 28 年に完成した昭和校舎はその外観を模して平成 12 年に総合観光施設「おい

しい学校」として生まれ変わり、イタリアン・和食・地元野菜の販売・パンの販売など地元のおいしさいっぱい、入浴・宿泊もできる施設となっている。

現在は北杜市の 24 景にも選ばれその魅力は、春の桜、秋のリンゴ、夏の田園風景等とともに、歴史と文化、地域の暮らしを感じることの出来る場所として多くの観光客が訪れる場所となっている。

5 月 14 日（水） 9:00～

長野県長野市

廃校活用事例について (戸隠地質化石博物館)

1981 年(昭和 56 年)に木造 2 階建ての、旧 柵^{しがらみ} 中学校の校舎を利用して戸隠村郷土資料館として誕生し、1987 年(昭和 62 年)にシンシュウゾウの下顎化石(長野県天然記念物)の発見を機に戸隠地質化石館に改名している。

平成 17 年長野市と戸隠村の市町村合併により、長野市立博物館の分館となり、平成 18 年戸隠村の 3 小学校が統合され、平成 20 年に旧 柵^{しがらみ} 小学校の鉄筋コンクリート 3 階建ての校舎に引っ越し、現在の戸隠地質化石博物館となっている。

長野盆地の形成史や里山の自然等の展示もされ、廃校を利用したため誰もが通った学びの場所として親しみやすい作りになっており、ケース越しの展示だけでなく触れる展示も数多く用意され、標本に触っての体験学習も可能になっている。

1F は、「人が集う場所」として、学校らしさを残すことでより親しみやすい博物館を目指し、雑多に様々なものを展示することで誰もが何か関心を持つものが見つけられるようになっている。

2F は、「ミドルヤード」として、いわゆる常設展示はフロントヤード収蔵室はバックヤードと呼ばれるが、その中間的な場所ミドルヤードを増やすことで物と人を近づけモノの魅力をより伝えられるように工夫している。

3F は、「常設展示フロア」として、館内を隅々まで見ていただけるようシャワー効果を期待してあえて 3F を常設展示室としている、そのため学校時代には無かったエレベーターを設置して、バリアフリーに対応している。

ここでは、熱心な研究員の人々の心を引き込むような話に感動し、施設の管理には人材確保が重要で有ると感じた。

5月13日（火） 15:30～（いいづなコネクト EAST）

5月14日（水） 10:30～（いいづなコネクト WEST）

長野県飯綱町

廃校活用事例について

廃校活用に至る背景は、少子高齢化が進行し平成23年「飯綱町教育環境あり方検討委員会」において町の教育の在り方について議論が開始され、平成25年に小学校統合検討委員会において、平成30年3月に4校の小学校を2校とする方針が決定され、平成28年、閉校が予定されている三水第二小学校区の赤東地区において、廃校舎の利活用等について、地域住民と共働で検討するプロジェクトチームが設置された。

平成29年、閉校予定の牟礼西小学校区の高岡地区においても廃校舎の利活用ようについて、検討がされそれぞれ町へ提言書が提出された。

跡地利用について地域住民組織での議論は、利活用方針案として「地域内外の多世代の人々による交流拠点」とする事でまとめられた。

平成30年、町内4小学校が統合され、地方創生推進交付金事業を活用し町の活性化拠点として廃校舎の整備と運営体制づくりを進める事を決定し、旧三水第二小学校を「しごとの創業・交流拠点」として整備に着手した。令和1年、旧牟礼西小学校を「体験・滞在型の都市交流等の拠点」として整備着手し、運営会社の「カンマッセ いいづな」が設立された。

運営会社は廃校舎の跡地利用を主の目的に作られた「民間のまちづくり会社」でカンマッセという言葉は、「かんます=かきまぜる」という意味を持ち、地元の方と移住者、古きと新しきを混ぜ合わせて、新しい文化を作っていくという想いを込めて、従業員数30名の会社である。

令和2年、いいづなコネクト EAST(旧三水第二小学校) OPEN

令和3年、いいづなコネクト WEST(旧牟礼西小学校)全館 OPEN され今日に至っている。

(いいづな コネクト EAST)

「しごとの創業・交流拠点」として近隣地域や都市圏との交流を促進するため、プロフェッショナル人材の地方還流、「しごと創り」を促すような学びのプログラムなどと共に、地域内外の幅広い人々と交流・創発が起こるような拠点を整備することで、企業や雇用を地方へと促す事を進めている。

施設整備費として地方創生推進交付金を充当し、約2億2,200万円を掛けている。

現在は、ICT 企業、工務店等の 7 社が 11 部屋を活用している。

(いいづな コネクト WEST)

「体験・滞在型の都市交流等の拠点」として、町の魅力である自然の中での豊かな暮らしや観光資源を最大の要素と位置づけ、自然・スポーツ・健康をテーマに様々な体験事業を展開し情報発信していくことで、町への観光誘客や交流・関係人口増加につなげて行くことを進めている。

約 2 億 5,000 万円の地方創生推進交付金で施設整備を行い、グラウンドを飯綱町サッカー場として約 1 億 5,000 万円で整備して県外よりの合宿施設として誘致している。

施設は、サッカー、バスケ、卓球、バドミントン、フットサルのスポーツ団体合宿新人社員研修、卒業旅行、吹奏楽、その他イベントなどの宿泊施設として活用されている。

現在は、IT 企業、整体院等 7 社が 12 部屋を活用している。

ま と め

恵那市においては、視察研修をした地域の特性と大きく違い、夫々の地域で状況が大きく違うので、跡地利用、活用については、色んな情報を集め検討し、市の負担にならないように、慎重に、慎重に考え結論を出す必要が有ると考える。

明知、串原、上矢作は、過疎地指定を受けている地域の事を、念頭に置く必要が有る。

令和 7年 9月30日

恵那市議会議員
鶴 飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 千 藤 安 雄

収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和7年4月分～令和7年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

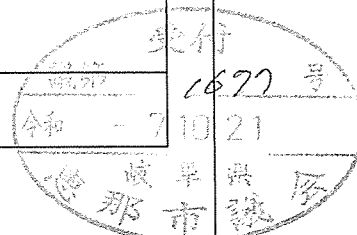
1 収 入

政務活動費 54,710 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	54,710	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	54,710	



様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和7年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	1	議員名	千 藤 安 雄
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち12人で割った金額を計上 (242,280円÷12人=20,190円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 20,190円	
領収書の補足説明	5月12日～5月14日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

支 出 伝 票

金額 7,110 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7 年 9 月 3 0 日

恵那市議会議員 千 藤 安 雄

1 支 出 先 静岡市葵区昭和町 4－5
アパホテル静岡駅北

2 支出年月日 令和 7 年 5 月 2 8 日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 宿泊代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者 1 2 名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

支 出 伝 票

金額 12,780円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 9月30日

恵那市議会議員 千 藤 安 雄

1 支 出 先 長野県長野市間卸所町1221
ホテルJALシティ長野

2 支出年月日 令和 7年 5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 宿泊代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

様式第6号（第5条関係）

支 出 伝 票

金額 300 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年9月30日

恵那市議会議員 千藤 安雄

- 1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社ごとう観光
- 2 支出年月日 令和7年5月28日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 5月12日～14日 旅行保険料

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者の保険料12名分とホテル宿泊代金が合算された領収書を、代表者（太田敦之）が受領しているため。

様式第5号 (第5条関係)

領収書貼付用紙

年 度	令和 7 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	2	議員 名	千 藤 安 雄
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち 12 人で割った金額を計上 (414,250 円 ÷ 12 人 = 34,520 円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 34,520 円	
領収書の補足説明	5 月 12 日～14 日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

支 出 伝 票

金額 34,520円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 9月30日

恵那市議会議員 千 藤 安 雄

1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社 ごとう観光

2 支出年月日 令和 7年 5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 5月12日～14日バス代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

様式第 3 号(手引き第 4 章関係)

令和 7 年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 千 藤 安 雄

(令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 9 月 3 0 日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
				政務活動費半期 分 (予定)			60,000
5	28	1	調査研究費	5/12, 5/13 宿泊費	20,190	20,190	39,810
5	28	2	〃	5/12～5/14 バス代金	34,520	34,520	5,290
合計					54,710	54,710	5,290

